

文学

三鷹

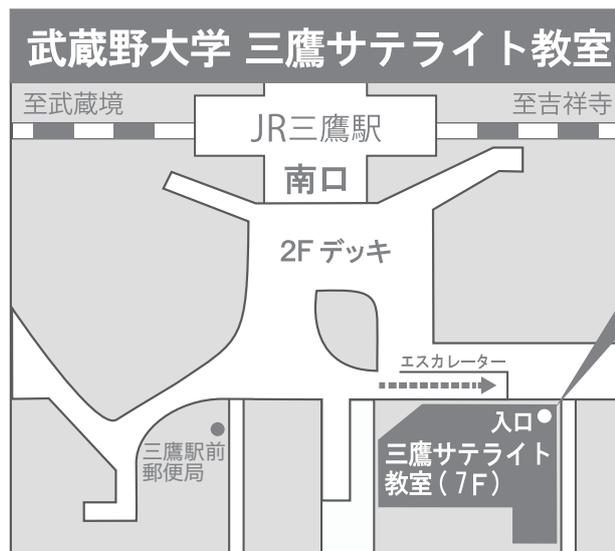
0401028

## 楽しく読む万葉集

— 万葉集入門 —

受講料 (振込額)	8,000円				
必携テキスト	——				
講座概要	曜日	火曜日		日程 7月26日 8月9日 9月13・27日	
	時間	10:00～11:30			
	回数	全4回	定員		20名
	開講場所	三鷹サテライト教室 7F 大教室			
講師	元武蔵野女子学院中学高校教員 上村 正人 (かみむら まさと)				
	1938年生まれ。1960年、東京学芸大学乙類国語科(漢文専攻)卒。同年武蔵野女子学院中学高校国語科教諭(古文・漢文・現代文担当)。2003年3月、同上校定年退職。その間、東京学芸大学名誉教授・故安良岡康作氏(中世文学・国語教育専攻)に師事し日本中世文学を中心に研究。中世文学会、仏教文学会、解釈学会、日本文学協会にも所属してきた。なお、本学生涯学習講座においては、「西行の和歌」「徒然草(抜粋)」「方丈記」「奥の細道」「野ざらし紀行」「鹿島詣」「笈の小文」「更科紀行」「嵯峨日記」「百人一首」「伊勢物語」「西行の歌と人生」「紀貫之の文学(「土佐日記」「古今集)」「和歌文学史入門」「十六夜日記」「とはずがたり」「建礼門院右京大夫集」「悲劇の女性たち—平家物語入門—」をとりあげてきた。				
内容	日本古典和歌の集成で、最古・最大(歌数最多)の「万葉集」は、大変謎の多い歌集で、誰が最終編集者であるのか明確でないうえ、苦労した手段で筆録されて、「万葉集仮名」という表記も色々問題が残っています。しかし、幸い、既に平安時代から始まった多くの研究者の手によって、ほとんど解明され、読めるようになっています。難しい問題はさておき、万葉集の著名な歌人の作品をとりあげ注釈し、鑑賞してゆきましょう。				
	持ちもの：①テキストは『万葉集』の角川ソフィア文庫・岩波文庫など。注釈のついていないものでも可。但し、国歌大観番号のついているもの。 ②古語辞典。 ③配布プリント。				
	① 7月26日：志貴皇子の歌 ② 8月9日：高市黒人の歌、長意吉麻呂の歌 ③ 9月13日：山上意良の歌 ④ 9月27日：大伴旅人の歌				

# 武蔵野大学 三鷹サテライト教室



〒181-0013  
東京都三鷹市下連雀3丁目26-12  
三鷹三菱ビル

JR中央線・総武線  
東京メトロ東西線  
JR三鷹駅 南口より徒歩1分

三鷹三菱ビル 7F  
(三菱UFJ銀行のビル)

1階入口からお入りください。

- ・「受講の手引き」「新型コロナウイルス感染症拡大防止のためのお願い」を必ずお読みの上、ご参加ください。

《徹底のお願い》

☆マスクは清潔な不織布で、鼻口を覆ってください。